８．４から７までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

［１］ 公共交通機関の利便性の増進、特定事業及び措置の推進の必要性

（１）現状分析

本市の中心市街地は、上越新幹線・信越本線などの停車駅であるＪＲ長岡駅を中心に形成されており、市内全域に放射状に広がっているバス路線など、公共交通の結節点として高い利便性を兼ね備えた重要な役割を果たしている区域である。

この 10 年間では、２期の中心市街地活性化基本計画に基づき、ＪＲ長岡駅の東西を結ぶ自由通路の延伸や大手スカイデッキの整備等に取り組み、バリアフリー化を完了し、ＪＲ長岡駅を起終点とする市街地循環バスの運行とその拡大に取り組んできた。

しかしながら、依然として市民の移動手段は自家用車の利用が高く、中心市街地に来街する 7 割強が車を利用している状況にあり、中心市街地内に主要渋滞箇所が６箇所存在している。また、公共交通機関のＪＲ長岡駅の乗車人員は横ばいに推移するものの、市内主要バス路線の利用者数は減少傾向にある。

（２）公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進の必要性

○ 公共交通機関は、高校生や高齢者など自動車を運転できない市民にとって日常生活に不可欠な移動手段であるとともに、温室効果ガス排出量の削減や健康増進などの観点においても有効な手段である。

○ 来街交通手段として自動車利用のニーズが非常に高いことから、当面は、自動車を含めた誰にでもやさしく便利な交通環境の創出を目指しつつも、将来的な公共交通への利用転換を見据えた取組が必要である。

○ 通勤、通学、買い物、観光、各種イベントへの参加など、それぞれの目的に応じた移動手段を選択できるように、自動車、鉄道やバス路線のほか、自転車も含めた中心市街地への総合的なアクセス性の向上を図ることが必要である。

（３）フォローアップの考え方

事業の進捗状況について毎年度確認を行い、状況に応じて必要な改善措置を講じる。

［２］具体的事業等の内容

（１）法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

（２）①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
●事業名 学生交流「ちょい乗りバス券」実証実験事業（再掲） **●内容** 郊外の大学、専門学校と中心市街地をつなぐバスの運賃を割引する。 **●実施時期** 平成 28 年度～	ながおか・若者・しごと機構	中心市街地から離れた場所に立地する市内の大学、専門学校等と中心市街地を結ぶバスを、学生限定割引運賃で乗車できるようにし、交流を促進する事業。 若者の中心市街地への来街を促す本事業は、まちを歩く人、まちに集う若者の増加に寄与する。	**●支援措置** 中心市街地活性化ソフト事業 **●実施時期** 平成 31 年度～35 年度	

（２）②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
●事業名 駐車場案内システム改善事業（再掲） **●内容** 来街者の利便性向上を図るため、既存システムの改善を行う。 **●実施時期** 平成 32 年度～34 年度	長岡市	来街者の増加や新たな公共施設整備に対応するため、駐車場案内表示板の増設とシステムの改修を行う事業。 駐車場の情報提供強化を図り来街者の利便性を向上させる本事業は、まちを歩く人、まちに集う若者の増加に寄与する。	**●支援措置** 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（長岡市中心市街地地区）） **●実施時期** 平成 32 年度～34 年度	
●事業名 店ちか駐輪場設置社会実験事業（再掲） **●内容**	長岡市	歩道上の無秩序な駐輪を抑制し、安全・安心な歩行空間を確保するため、路上駐輪場を試験的に設置する事業。 中心市街地への来街者の利	**●支援措置** 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業	

まちなか空間の利便性を向上させるため、路上駐輪場を試験的に設置する。 **●実施時期** 平成 32 年度～33 年度		便性の向上に資する本事業は、まちを歩く人、まちに集う若者の増加に寄与する。	（長岡市中心市街地地区）） **●実施時期** 平成 32 年度～33 年度	

（３）中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

該当なし

（４）国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
●事業名 観光レンタサイクル事業 **●内容** まちなかの手軽な移動手段として、レンタサイクルを実施する。 **●実施時期** 平成 26 年度～	(一社)長岡観光コンベンション協会	長岡を訪れた観光客等を対象に、中心市街地内の手軽な移動手段として自転車を貸し出す事業。 観光の活性化、回遊性の創出を図る本事業は、まちを歩く人、まちに集う若者の増加に寄与する。		
●事業名 ノンステップバス等導入事業 **●内容** 誰もが利用しやすい交通環境のため、低床バス改造費の一部を補助する。 **●実施時期** 平成 9 年度～	越後交通(株)、長岡市	高齢者や障がい者など、誰もが利用しやすい交通環境を確保するため、バス事業者に対し低床バス改造費の一部を補助する事業。 来街者の利便性向上を図る本事業は、まちを歩く人、まちに集う若者の増加に寄与する。		

◆４から８までに掲げる事業及び措置の実施箇所